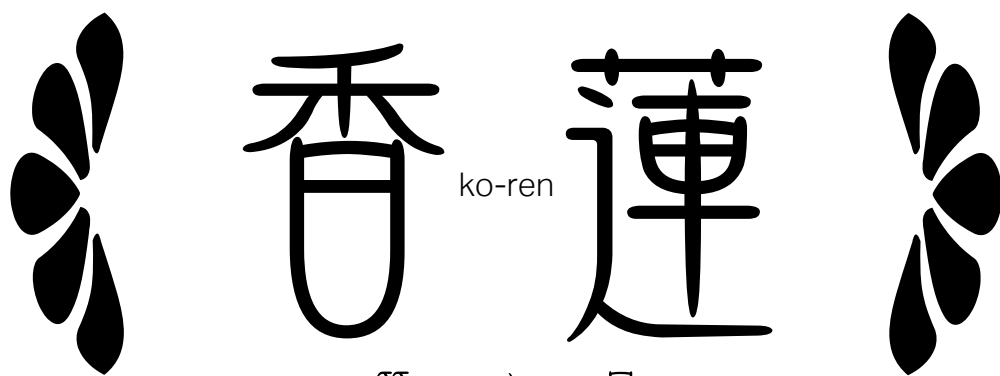


浄土宗方便山善立寺



第八号
平成二十八年お盆

No.
8

Echo

名古屋市無量寿院徒弟 河原専修 (77 歳)

善立寺副住職 小路竜嗣 (30 歳)

「72 歳で修行僧になった男」

メディア掲載情報

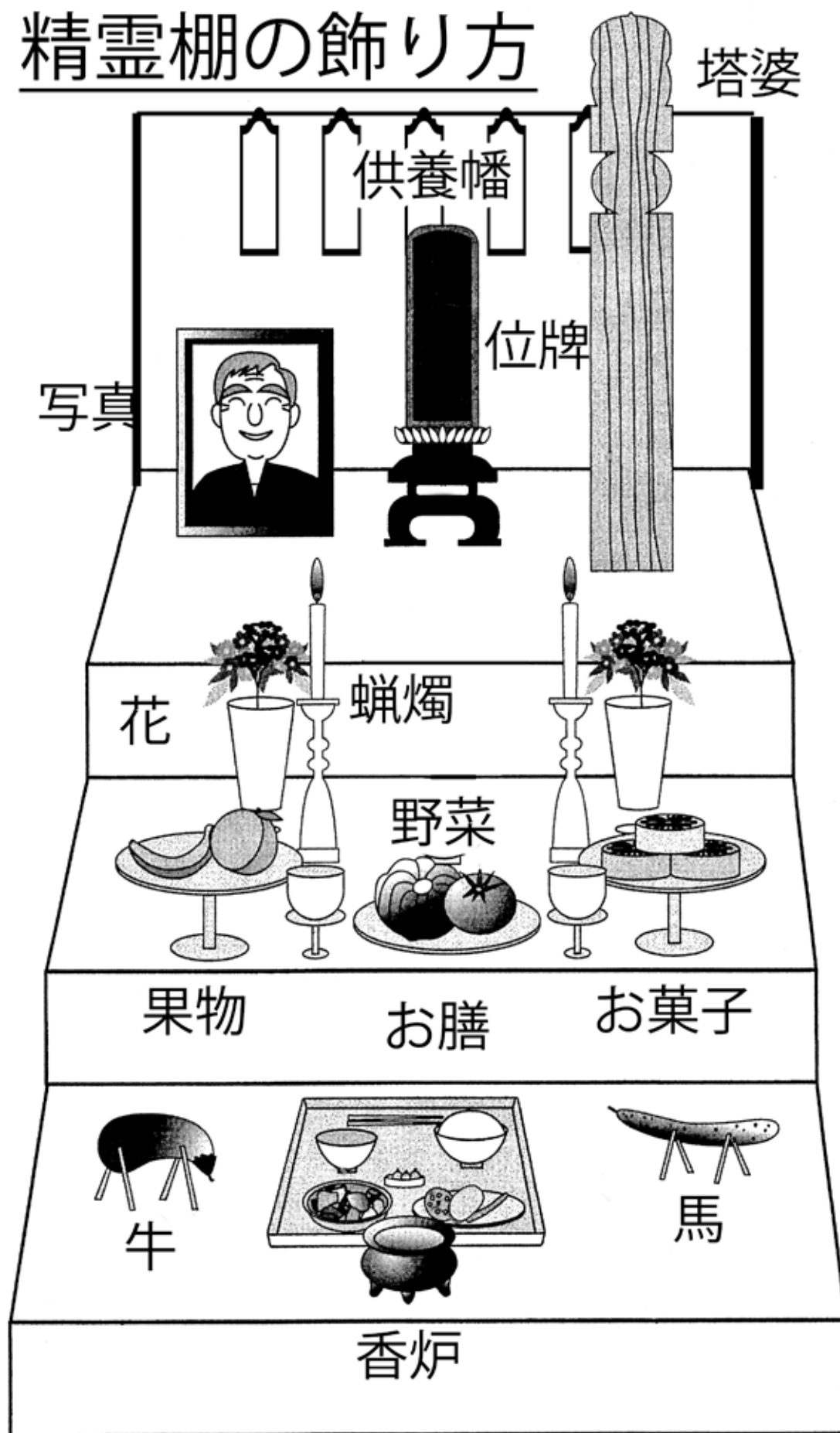
善立寺檀信徒会 新役員紹介

ちょっと東京へ 浄土宗大本山増上寺

竜嗣の仏教メモ拡大版 お盆の盆ってなに？

選択集より 番外篇～念仏により極楽往生できるのなら、悪いことをしてもいいのか～

精霊棚の飾り方



精霊棚の飾り方の一例 ※あくまで一例です。各家の伝統、風習を大切にしてください。



竜嗣の仏教メモ

拡大版！

お盆の盆ってなに？

盂蘭盆 ～うらぼん～ について

・知ってるようで知らないお盆の由来

日本の夏といえばお盆！お盆といえば実家に帰って家族に会ったり、レジャーに出かけたりと、私たちにとって馴染み深い風習です。では、お盆の「盆」とは何のことでしょうか。

実は1300年も続く長い長い歴史があるんです。今回は馴染み深いけどあまり知られていない、お盆の由来についてお話します。

・目連尊者とお母さんのお話

お盆、正式には盂蘭盆（うらぼん）は、古代インド語で「逆さ吊り」という意味です。その「逆さ吊り」の苦しみを除く法要が盂蘭盆会です。

この由来は仏説盂蘭盆経ぶつせつうらぼんきょうに説かれています。

お釈迦様の弟子の目連尊者がある日、亡くなった自分の母親がどのような世界にいるのか神通力で探してみました。すると、母はなんと悲しいことに餓鬼道がきどう（飢えと乾きの世界）に堕ちていました。目連はこのことを釈尊に話し、母を救う方法を伺いました。釈尊は「安居の最終日（旧暦の7月14日）にすべてのお坊さんに食べ物を施せば、そなたの母親にもその施しの一端が口に入るだろう」とお答えになりました。目連はその通りにお坊さん全員に施しを行い、お坊さんたちは飲んだり食べたり踊ったり大喜びをしました。

すると、その喜びが餓鬼道に堕ちている者たちにも伝わり、目連の母親の口にも入り、母は救われました。※盆踊りはこの喜びの踊り、死者に供養するための踊りが由来という説があります。

・1300年もの長い歴史！

この逸話が元となり、日本でも広く盂蘭盆会うらぼんえ（※）が行われるようになりました。

記録に残る日本最古の盂蘭盆会うらぼんえは657年に奈良飛鳥寺で行われました。なんと1300年以上前から伝わる行事なんです！

・なぜお盆に精霊棚を作るのか

では、なぜそのお盆期間中にご自宅に精霊棚を飾り、祖先を祀るのかについてです。

夏に精霊棚を飾る風習は元々、祖先に夏の恵みを感謝し、秋の実りを願うという民俗信仰でした。

その後、一般社会に仏教が浸透するにつれ、仏教の先祖供養の精神と合わさって、盂蘭盆会うらぼんえと共に行われるようになりました。

その時代時代の人々が先祖に願い、子孫に託した想いが紡がれて、今、皆様のご自宅の精霊棚につながっています。

・後世に伝えよう

今年のお盆はぜひ、おじいちゃん・おばあちゃんからお子さん・お孫さんに精霊棚の飾り方をお伝えさせてはいかがでしょうか？

ご一緒にナスで牛、キュウリで馬を作ってみるのも楽しいひとときになりますよ。

右ページに精霊棚の飾り方の一例を載せました。先に書いたように、決まった飾り方などはございません。各家の風習を大切にされ、あくまで悩んだときの参考としてご使用ください。

※現在、多くの寺院では施餓鬼会せがきえと共に行われる「盂蘭盆施餓鬼会うらぼんせがきえ」が一般的です。

名古屋市 無量寿院様本堂にて

72歳で修行僧になった男

無量寿院徒弟 河原専修上人

雑念の中で念仏を行っても救われるのか
という疑問が常に頭の中に取り残された

河原さんは私たちの精神的な柱でした

善立寺副住職 小路竜嗣 30歳
信州大学大学院工学系研究科卒
(株)リコーに入社し、開発者として勤務
退職後、京都・鎌倉の大本山にて修行
平成25年 増上寺にて加行成満
一般家庭出身として
仏教を分かりやすく伝えたいと努力中

今回の対談は私の修行同期であり、教師養成道場の開設以来、最高齢である72歳で修行僧になった男、河原専修上人です。

第二の人生として僧侶になった河原上人。誰もが成し遂げられる事ではない偉業を成し遂げた河原上人。今回はそのきっかけや厳しかった修行の思い出についてお話していただきました。

お坊さんになるきっかけ

河原上人（以下、河原） 40代の

ころ、両親を続けて亡くしまして、それからお寺に伺って法話を聞いたりするようになりました。

家に仏壇がありましたので日々、念仏をお称えしていました。

しかし、自分が困った時は一生懸命念仏をして、ちよつと良くなると念仏が続かなくて、雑念ばかり浮かんでくる。そんなことで救われるのか。雑念の中で念仏を行っても救われるのか。という疑問が頭の中に常にありました。そんなときに新聞で今の師であ

る大田弘光住職を知りまして、在家の信者として親しくさせてもらっていました。

その後会社をいよいよ退職する時期になり、先ほど申し上げた「雑念の中で念仏を行っても救われるのか」という疑問の答えが欲しいと思っていたところ、大田住職に「僧侶になる修行がある」と紹介してもらいました。そんなわけで72歳のとき、浄土宗僧侶の養成機関である教師養成道場に入行しました。

修行で辛かったこと

小路 それが私と河原さんの出会いでしたね。修行道場に入ったころの感想はどうでしたか。

河原 ほとんどの修行僧はお寺の息子さんや小路さんのようなお嬢さんでした。そんな中、全く何も知らない私。お経の名前も分からなかったし、これは大変なところに来たなという気持ちでした。ついて行けなくて、いつ下山（退学処分）させられるかと心配でした。

特に肉体的に辛かったことは、正座ですね。正座すると足がしびれますが、長く正座すると、しびれを通り越して、膝にピーンとした痛みが走るんです。毎日のお勤めが辛くて仕方ありませんでした。

もう一つは食事が辛かったですね。毎食、食事時間が3分ほどしかないんです。ですので、味よりも何よりも、「これは3口で食べなきゃいけない。これは2口」という計算ばかりしておりました。講義も年齢のせい、なかなか暗記ができなくて苦労しました。試験も追試ばかりで他の行僧が寝静まった23時頃まで追試をした記憶があります。

先生方に「おい河原！しっかりせい！」とよく怒られましたね。この歳になってこんなに怒られるのかというくらい。

精神的な柱として

小路 河原さんはどんなに、先生に怒られても元気に「はい！」と

大きな声で返事をして、絶対にめげなかったですよ。

私たち若手の僧にとつては、そんな河原さんが精神的な柱でした。自分の祖父ほど歳の離れた方が、誰よりも真剣に修行に望まれているのを見ると、「若い自分たちが音を上上げていられない」と思いました。

私たち修行僧が誰一人、修行を途中で投げ出さず、最後までやり遂げられたのも、河原さんのおかげだと感じています。

河原 私も若い人が頑張っているのだから、負けていられないぞ！という想いがありました。あの修行では若い方も年寄りも、世代を超え、互いに助け合うことができ、本当に良かったですね。

修行で得たこと

河原 修行を通して、何事にも耐えること、そして何事にも一生懸命やることを学びました。私はお経も座学も上手にはできませんでしたが、毎日、一生懸命やること、



河原専修（かわはら せんじゅ）77歳
72歳で名古屋市の無量寿院大田弘光住職のもと、出家。
その後、浄土宗僧侶養成機関である教師養成道場に入行。
道場開設以来、最高齢の修行僧となる。
平成25年知恩院にて加行満行
現在は無量寿院の徒弟として、念仏の日々を送る。

それだけは心がけていました。

今となつては、先生方に怒られたこともありがたく思えます。先生方は私たちよりも早く起きて、遅く寝て、私たちの健康状態にも気を配りながら指導する。あのときの厳しい指導があったからこそ、今の私があります。

修行を終えて

小路 修行を終えて、河原さんの疑問であった「雑念の中で念仏を唱えて意味はあるのか」という問いに答えは出ましたか。

河原 はい。雑念も浮かんでくるが、そんな私でも救ってくださる

のが阿弥陀仏なんだと確信できました。

浄土宗二祖聖光上人しょうこうしやうにんのお言葉に「念死念仏」（常に死を思い念仏する）があります。

私には極楽浄土が近づいておりませんが、「今、死ぬ」というときに浄土三部経を読むのは無理だけど、死ぬ最期の一息に「南無阿弥陀仏」と吐いて死にたいと思っています。その最期の一念のために今は日々、お念仏をお唱えしています。

次号に続く・・・

次号はお坊さんになった後のお話

選択集より（番外編）

問・念仏により極楽往生できるのなら、悪い事をしてもいいのか

答えて曰く

悪業をものはばからず、行すべき慈悲をも行ぜず。念仏をも励まざらんことは仏教の掟に相違するなり。

法然上人 念仏往生義より

念仏により往生できるのだからと、故意に悪いことをしたり、行すべき慈悲を行わずに、念仏も行わないのであれば、仏教の基本的な掟^{おきて}に反します。

この仏教の掟^{おきて}とは

- ・悪事をしないようにすること
- ・行すべき慈悲を行うこと

この2つは、どの仏教宗派にも共通する掟^{おきて}です。『南無阿彌陀仏』のお念仏を行う私たち浄土宗も例外ではありません。

ですので、『善人となって念仏を行う事』が私たち阿彌陀仏を信じる者として大切です。

阿彌陀仏は善人も悪人も救ってくださいますが、善人を見ては喜び、悪人を見ては悲しめます。良い土地に良い種を蒔くように、善人になろうと心がけて念仏を行うべきであり、それこそ、ほんとうに仏の教え（仏教）に従う者（仏教徒）です。

※選 択 本 願 念 仏 集 （通称 選択集）

一一九八年、九条兼実公の依頼により法然上人が執筆された本。なぜ阿彌陀仏なのか、なぜ称名念仏なのかをまとめた、浄土宗で最も大切な書物です。

行ってきました

浄土宗大本山 増上寺

増上寺は徳川家康が関東入りした際、徳川家の菩提寺となったことで大きな発展を遂げました。家康没後も浄土宗の僧侶育成の中心として、一度に数千人の学僧を抱える超巨大寺院に成長しました。

江戸時代、どれほど広大な境内をもっていたかというところ、現在、「港区芝公園」とつく土地は元々、増上寺の境内地でした。

また、史実の中にも増上寺はたびたび登場します。忠臣蔵では浅野長矩が殿中殺傷をするに至った要因の一つが、増上寺の畳替えを吉良に指示されなかったこととされています。

そして、増上寺は江戸屈指の観光名所であり、特にその鐘の音は有名でした。

「江戸七分ほどは聞こえる芝の

鐘」

「今鳴るは芝か上野か浅草か」や落語の演目「芝浜」にも増上寺の鐘が登場します。

現在も浄土宗学問の中心として、また現代社会に開かれた寺院として、コンサート・CM撮影、イベント、ハリウッド映画の撮影など、広く門を開いています。



増上寺 本堂と東京タワー



・善立寺檀信徒会役員改選について～平成 28・29 年度役員紹介～

平成 28 年 4 月 3 日の善立寺檀信徒通常総会にて、檀信徒会役員が改選されました。

皆様のご自宅に伺うこともございますが、2 年間、どうぞよろしくお願いいたします。

10 ブ ロ ッ ク	9 ブ ロ ッ ク	8 ブ ロ ッ ク	7 ブ ロ ッ ク	6 ブ ロ ッ ク	5 ブ ロ ッ ク	4 ブ ロ ッ ク	3 ブ ロ ッ ク	2 ブ ロ ッ ク	1 ブ ロ ッ ク	特 別 会 計	一 般 会 計	副 会 長	会 長
個人情報のため PDF 版では表示していません													

敬称略

善立寺の活動がメディアで取り上げられました

朝日新聞

御朱印に QR コード「参拝客との縁 IT で」

平成 28 年 5 月 26 日朝刊（長野版紙面）



『僧侶の中には優れた社会活動をしている仲間も多いのに、知られていない。今は誰でも情報発信できる時代だから、新しい方法を一石を投じ、仏教の面白さを広く伝えたい』記事より引用

「月刊住職 7 月号」

元エンジニア副住職が考案したハイテク御朱印の効果

『布教の可能性はいつだって無限大なのだ』記事より引用

エバーノート

公式ブログ

「デジタルデータを数百年後にまで

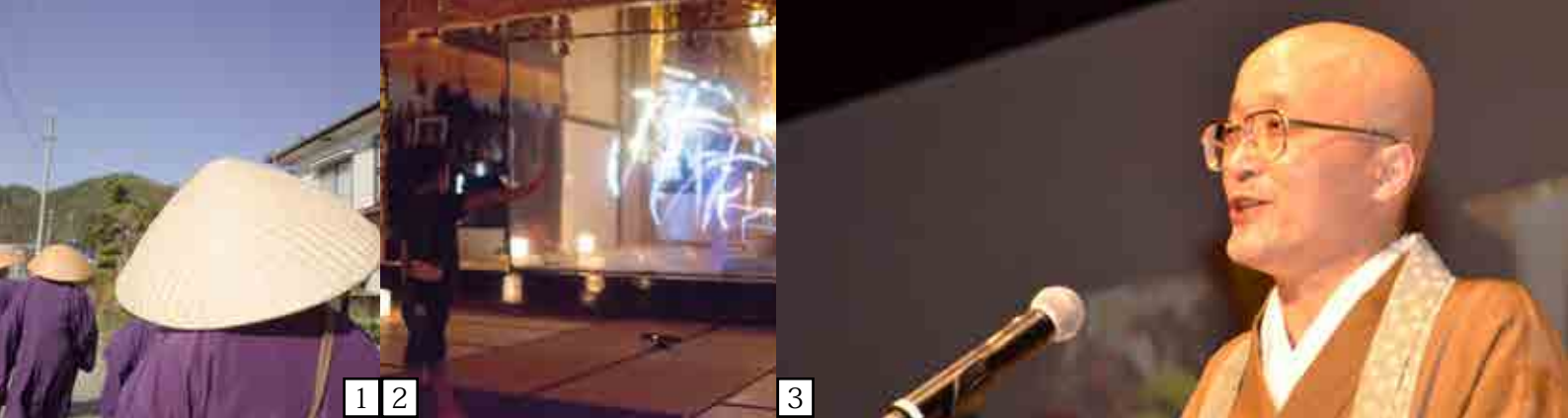
どう伝えるのか」

元エンジニアの僧侶に聞く

エバーノート活用法



今後も皆様のご期待に応えられるよう活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。



1. 塩尻仏教信和会 托鉢 2. エア書道（こども大会） 3. 横田南嶺老師（夏期大学講座）

平成二十八年上半期の活動

修正会

1月7日、年始の法要である修正会を執り行いました。修正会とは「正月に修める大会」の略であり、一年の多幸を阿弥陀様に願う法要です。

法話は善立寺副住職が行いました。法要後は皆様とともに新年会を行いました。

塩尻仏教会 托鉢

塩尻仏教信和会（信和会）による花祭りの托鉢が行われました。塩尻仏教信和会は浄土宗、曹洞宗、真言宗を含む超宗派団体で、毎年4月に托鉢行を行っています。皆様から頂いた浄財は塩尻市社会福祉協議会に寄付致しました。また、5月14日、塩尻町の永福寺様にてお花祭りが開催されました。信和会所属の若手僧侶が増えたので、これから若手ならではの新たな活動を計画しております。（写真1）

松本浄土宗青年会主催こども大会

6月26日、松本市梓川梓の恭儉寺様にてこども大会が開催されました。

今回は空中に文字を書く「エア書道」の体験やオリジナルのしおり作りなど趣向を凝らしたイベント盛りだくさん。最後には子どもたちから阿弥陀様へ手紙を書く「あみださまあのね」を行い、こどもたちの願いを阿弥陀様に送りました。多くのお子様のご参加ありがとうございました。

筑摩観音例大祭

6月29日、長照寺様にて信州筑摩観音霊場例大祭が行われました。信州筑摩観音霊場は松本・塩尻一円の観音菩薩霊場です。ちなみに善立寺は霊場中唯一の浄土宗寺院です。

夏期大学講座

7月2日、松本市キッセイ文化ホールにて信濃中央仏教会主催の夏期大学講座が行われました。今回は第50回を記念して、鎌倉の臨済宗円覚寺派管長横田南嶺老師よこたなんりょうしにご講演いただきました。横田老師は40代で臨済宗円覚寺派のトップになられた方です。（写真3）

編集後記

寺報も第8号を迎えることができました。これらの活動も少しずつですが広まってきました。

先日、エバーノート社に前職の技術を活かす僧侶として、取材をしていただきました。そこから、朝日新聞や月刊住職にも記事にさせていただきました。一つの出会いかから様々な方にお会いし、ご縁をつなげることができました。

どれだけ広まっても、目新しさばかりにとらわれず、今後の活動を行うことを自戒と致します。なにとぞ今後ともよろしくお願いいたします。

副住職 小路竜嗣

善立寺 今後の行事予定	
7月28日	盆施餓鬼大法要
~8月中旬	お盆棚経
8月16日	第4回盆燈明会
11月3日	薬師観音祭
12月28日	仏名会
1月7日	修正会

各行事の詳細については、お気軽にお問い合わせ下さい